

 <h1 style="color: orange;">カテゴリーシリトリ</h1> <p style="color: red;">～古今東西×しりとり×スピード～</p> <p>2～5人 約15分 8才以上        開発：39芸夢(マサッカー)        製造：あんちっく(antic-main.com)        内容物：説明書(本紙) カード44枚</p>	<h2 style="color: magenta;">準備</h2> <p>代表者がカードをよく混ぜて山札を作り、山札の一番上のカードをめくって場(テーブルの中央)に置き、そのカテゴリー内の言葉を言って最初の文字を決めます。        例えば、「アナログゲーム」というカテゴリーで「チェス」と言ったら、最初の文字は「ス」になります。</p>
---	---

## ルール

山札からカードをふせた状態のままでひとり5枚ずつ取り、代表者の「ゲーム開始」の合図で全員一斉にカードを裏返して持ちます。

**前回の言葉の「しりとり」になる文字から始まる、カテゴリー内の言葉を言いながら、そのカードを前回のカードの上に重ねて出します。**

例えば、前回の言葉が「い」で終わっていたら、「イギリス」などと言いながら「国」のカードを出し、その後で「す」と言います。次は「す」から始まるカテゴリー内の言葉を考えます。ターン制ではなく早いもの勝ちで、言葉を思いついた人から先にカードを置いていきます。少しでもカードを出すのが後だったら、そのカードを自分で回収します。

**他の人が聞き取りやすいように最後の文字を繰り返して言いましょう。**

言葉が長音で終わる場合は長音の前の文字を使います。例えば、「マンゴー」なら「ご」になります。

言葉が拗音で終わる場合は拗音を使います。例えば、「大蛇」なら「や」になります。

作る言葉は基本的には普通名詞か固有名詞です。

カテゴリー内かどうかあやしい言葉は、プレイヤー同士で常識的に判断して下さい。

言葉を思いつかなかったら、好きなタイミングと任意の枚数で手持ちカードを山札とチェンジできます。その際、捨てる枚数+1枚を山札から取ります。捨てるカードは山札の隣に重ねて置きます。

間違えて「ん」で終わる言葉を言ってしまった人は、間違えて出したカードを自分で回収した後に、山札から2枚取って手持ちカードに加えます。

**最初に手持ちのカードを全て出した人の勝ちです。**

誰も言葉を思いつかず、カードをチェンジしなかったら、一番上のカードを出した人が山札から1枚めくって場に出し、5秒以内にそのカテゴリー内の言葉を言ってゲームを再開します。もし5秒以内に言わなかったらそのカードを手札に引き取り、再び同じことを行います。

もし山札がなくなっても決着がつかなかったら、ただちに捨てたカードと場のカードをよく混ぜて新たな山札を作ります。その後、手持ちカードの一番多い人(同数ならジャンケン)が山札から1枚めくって場に出し、5秒以内にそのカテゴリー内の言葉を言ってゲームを再開します。もし5秒以内に言わなかったらそのカードを手札に引き取り、再び同じことを行います。

## おまけルール

みんなで今回の文字数を決めます。(初めは4～7文字、慣れたら8～11文字で遊みましょう。)  
 誰かが山札の一番上のカードをめくって場に出したらゲーム開始です。

**めくられたカードのカテゴリー内で、決めた文字数の言葉をいち早く言えた人は、そのカードを得点として自分の前に置いておきます。**

カテゴリーが文字数の場合、10秒経っても誰も言葉を思いつけない場合、発言が同時だった場合は、次のカードをめくって上に重ね、次のゲームを始めます。勝った人は下にあるカードを全てGETします。

**以上を繰り返し、6枚以上のカードを集めた人の勝ちです。**